



加西病院だより

今月の主な内容

- 診療科紹介……………P2
- 臨床研修医……………P10
- 地域医療室のお知らせ…P11
- 救急・外来時の案内……P13
- 新機器装置の紹介………P14
- ベリーの会のご案内………P14
- 医療機関・電話番号表…P15
- 外来診察担当表……………P16

第9号

平成19年8月号

内科

①内科とはどんな科ですか？

内科の扱う範囲は広く、頭のとっぺんから足の先までほぼすべての臓器の病気に加え、血液や内分泌・代謝、免疫系など特定の形を持たない病気までもその対象としています。病院を訪れた患者様を、まず診察させて頂く事が多く、総合的に判断し患者様に応じた専門科への橋渡しも行っています。従って、救急領域でも初期治療（プライマリ・ケア）にも重要な役割を担っています。また、検診や人間ドックなど病気の発見にも力を入れています。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科などの専門内科が合わさった形で、内科として診療を行っています。各々の専門医としての資格に加え、内科すべての領域で専門的な診療を行える認定内科専門医の資格を有する医師を多数擁しています。専門領域をこえて、合同で診療、症例検討にあたることにより、先進的かつ総合的な診断、治療を行えるものと自負しております。また看護師・臨床検査技師・薬剤師・理学療法士など各職域の糖尿病療養指導士と共に糖尿病診療チーム、専門看護師や精神科医師と共に緩和治療チーム、作業療法士や理学療法士と共にリハビリテーションチームなどを作り、チーム

医療にも力を注いでいます。

③是非、市民にPRしたいこと

すべての内科疾患に対し、水準以上の診断、治療を行うために、専門施設との交流も積極的に行っています。より専門的な診断、治療方針の決定後は、加西病院で継続治療を受ける事も可能です。また、かかりつけ医の先生と連絡をとって、普段の診療は地元で、入院、精査が必要な場合、急変時は加西病院でといった診療も可能です。加西病院の医療資源を十分に活用するため、主治医にご相談ください。

④今後の展望、抱負

新臨床研修制度の導入により、医師の偏在化が助長され、各医療施設の医師不足が叫ばれるなか、加西病院は若い医師の支持を受け、多くの臨床研修医を受け入れています。今後も診療、教育、研究の充実をはかり、優秀、誠実な医師を育て、活気ある医療の場を提供していきたいと思っております。本院で対応困難な病態に関しては適切な専門施設に紹介いたしますので、地元の病院を安心してご利用下さい。

医師紹介

山邊 裕

内科専門医、循環器専門医、院長。専門は循環器ですが現在は内科疾患を幅広く診れる一般内科を目指しています。

山谷 利幸

内科専門医、糖尿病専門医、副院長。糖尿病が専門領域ですが、その他の内分泌疾患、血液疾患、膠原病などの診断を担当しています。

豊國 剛大

今年4月から後期研修医として勤務しています。一般内科としてがんばっています。

岩佐 直子

4月から後期研修医として勤務しています。

福田やよい

今年の4月から後期研修医として研修させていただいています。

松本 竜童

後期研修医として勤務中。循環器専門医を目指しています。

野村 明弘

大学で初期研修を終えて、4月から後期研修医として勉強させていただいています。

循環器科

①循環器科とはどんな科ですか？

心臓の病気を扱う科です。具体的に、心臓のリズムが乱れる「不整脈」、心臓に血液が供給されない「狭心症、心筋梗塞」、心臓の弁が障害される「弁膜症」、心臓の筋肉が不全に陥る「心筋症」などです。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

平成18年の心臓ならびに末梢血管のカテーテル治療は178件、電気生理学検査ならびにカテーテル焼灼術が47件、ペースメーカー植え込み術が37件、心エコー図検査（経胸壁、経食道）が1625件、心臓核医学検査が372件。冠

動脈形成術は成功率97%、再治療率8%、合併症は1%（緊急バイパス：1例、急性心筋梗塞による死亡：1例）。末梢血管形成術は成功率100%、再治療率0.9%、合併症なし。頻脈性不整脈に対するカテーテル焼灼術は成功率95%、再発率1%、合併症なし。

③是非、市民にPRしたいこと

平成18年はホスピタルフェアと市民講座において「高脂血症」の講演会を病棟、栄養科と協力して2回行いました。平成19年はテーマを「心筋梗塞」に移し、更なる内

容の充実を図りました。「心筋梗塞」は日本人の三大死因の一つであり、早期診断と適切な治療が重要です。たくさんの市民の皆様にご参加いただきありがとうございました。

④今後の展望、抱負

平成19年は循環器病棟の集中治療室を拡大し、最大5床を一括管理できるようになります。これにより急性期患者に対して治療ならびに看護を今まで以上にきめ細やかに提供でき、より多くの救命につながると期待しております。

医師紹介

森 益規

内科認定医、循環器専門医
心血管インターベンション認定指導医
循環器科部長、血管内治療のスペシャリスト

河合 恵介

内科専門医、循環器専門医
循環器科副部長、米国留学経験をもつ心不全のスペシャリスト

北崎 和久

循環器科副部長、不整脈治療のスペシャリスト

安積 啓

循環器科副部長。地元に根ざした循環器科医、腎臓病にも詳しい

井関 治

内科認定医、循環器科史上最高の非常勤医師
心臓超音波検査のスペシャリスト

神経内科

①神経内科とはどんな科ですか？

脳・脊髄・末梢神経・筋肉などの脳神経系臓器の病気を扱う内科です。主に手術治療を得意とする脳神経外科に対して、神経内科は脳神経系の病気の診断やお薬での治療が主な仕事です。高齢化社会において、ますます重要になってきている分野です。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

外来は週3日（月・水・木）診療しておりますが、平成18年度は初診患者276名・再診患者延べ4810名が受診されました。頭痛・筋力低下・しびれ・ふらつき・めまい・物忘れ・けいれんといった症状の方が多いです。入院では、脳卒中・脳炎や髄膜炎などの感染症・パーキンソン病などの神経変性疾患・ギランバレー症候群や筋炎などの神経免疫疾患・てんかんといった病気が多いですが、平成18年度は計322名の入院がありました。

医師紹介

石原 広之

内科専門医、神経内科専門医、神経内科部長。脳神経領域なんでもこいです。

③是非、市民にPRしたいこと

脳梗塞は脳の血管が詰まってしまい、麻痺・しびれ・ろれつが回らないといった症状がでる病気です。最近、発症早期の脳梗塞に対してtPA血栓溶解療法という新しい治療法（基準があり全ての患者様に行うことができるわけではありません）が認可され、当院でも24時間体制で治療にあたっています。治療は脳梗塞が完成してしまってからでは遅いため、症状が出現すればできるだけ早期に受診していただくことが肝要です。

④今後の展望、抱負

本年より脳ドッグを始めました。脳MRIや血液検査などで脳梗塞につながるような病気が隠れていないかを調べます。ご希望の方は当院の地域医療室までご相談下さい。

消化器内科

①消化器内科とはどんな科ですか？

口からお尻までの食べ物を通る管（食道、胃、小腸、大腸）とそれに連なる肝臓、膵臓、胆嚢など広い領域の病気を扱う科です。日本人の癌の約60%は消化器癌であり、早期であれば外科手術をせずに内科的な治療で治せることが多いため、早期発見に日々努めています。手術が必要な場合は、外科の医師ともよく相談して最善の治療法の選択を行っています。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

胃カメラ：2,545件

大腸内視鏡：1,017件

早期癌やポリープの内視鏡的切除：248件

慢性肝炎の治療

（C型肝炎に対するインターフェロン治療：25件）

肝細胞癌の早期発見、内科的治療

（ラジオ波焼灼術：18件）

③是非、市民にPRしたいこと

消化器領域には様々な癌が発生しますが、内視鏡検査などで多くは早期発見可能です。苦痛の少ない検査を目指して様々な工夫をしていますので、「カメラはつらいので受けたくない」と思い込んでおられる方は是非とも一度ご相談下さい。その一つとして、鼻から入れる胃カメラを今年度より導入しました。口から入れるカメラよりも圧倒的に楽で、検診目的で希望される方を中心に使用しています。

④今後の展望、抱負

消化器病学会の専門医が外科の医師も含めて4人となりましたので、指導施設として認定されました。県内には成人病センターなど癌を専門に扱っている大きな施設がありますが、設備のない放射線治療を除けば、消化器癌の診断・治療技術に関しては決して劣っていないと自負しています。本院で対応困難な病態に関しては適切な専門施設に紹介いたしますので、地元の病院を安心して利用下さい。

医師紹介

北嶋 直人

内科専門医、消化器指導医、内視鏡専門医、診療部長。消化器内科を統括、肝臓病が専門

玉川 祐司

内科認定医、島根大学の大学院生

大瀬 貴之

内科専門医、消化器専門医、内視鏡専門医
島根大学での厳しい4年間の修行を終えて復帰、内視鏡治療のスペシャリスト

外科

①外科とはどんな科ですか？

当院の外科スタッフは神戸大学病院の消化器（おなかの）外科出身者で構成されています。おなかの外科の手術対象臓器は食道、胃、十二指腸、小腸、虫垂、結腸、直腸から肛門にいたる管腔（くだの）臓器と肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓などの実質（かたまりの）臓器の2つがあり、その他、腹壁、腹膜疾患を治療します。手術が必要となる疾患は、腫瘍（しゅよう）で、悪性腫瘍と良性腫瘍があります。悪性腫瘍の大部分が癌（がん）です。腫瘍以外では、虫垂炎（盲腸）、胆石・胆嚢炎、消化管穿孔、腹膜炎などの炎症性疾患、おなかの臓器の損傷、消化管異物などです。乳癌や甲状腺癌も対象で、その他、一般外傷を治療しています。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

おなかの腫瘍の手術治療（+化学療法）と術後経過の観察、炎症性疾患の（緊急）手術が主な仕事です。手術件数では最近5年間の平均で296件/年（全身麻酔224件/年）で、約1/3が癌（がん）の手術となっています。得意分野はおなかの外科治療で、各種ガイドラインにのっとった標準的治療に心がけています。

③是非、市民にPRしたいこと

- (1)日本外科学会外科専門医制度修練施設認定、日本消化器病学会専門医制度の認定施設となっており、外科スタッフの教育、修練を行っている病院であり、また、臨床研修病院指定により研修医の外科教育を行っています。
- (2)消化器内科、放射線科とともに消化器病センターとして

スムーズな一貫した治療を行っています。

(3)1992年から腹腔鏡下(胆嚢摘出)手術を行っています。手術手技の進歩、医療機器の改良、手術成績の解析とともにその適応が広がっています。当院では胆嚢摘出術の標準術式、大腸がん、胃がんの一部、さらに上部消化管穿孔、急性虫垂炎などにも行っています。

④今後の展望、抱負

- (1)がん基幹病院をめざして、がん化学療法専門医師、専門看護師を育成したい。
- (2)引き続き加西市民の腹部救急疾患に対処していきたい。

医師紹介

生田 肇

外科指導医・消化器外科指導医・消化器指導医・内視鏡専門医、診療部長。
消化管がんの外科治療に長年携わり、その経験を診療、教育に生かしていきたい。

西田十紀人

外科専門医、消化器外科認定医、外科副部長。
神戸大学病院では肝臓がん化学療法、肝移植の研究に従事。経験も豊富。

角 泰雄

外科専門医、消化器専門医、外科副部長。検診マンモグラフィ読影認定医。当院の腹腔鏡下手術の中心的存在。乳がんの診断・治療、救急救命処置が得意。

藤田 敏忠

外科認定医
腹部救急疾患を一手に引き受けている。

整形外科

①整形外科とはどんな科ですか？

整形外科は四肢、脊柱の筋、骨格などの運動器官、姿勢に関与する諸疾患を取り扱う科です。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

外傷を含み、小児、成人を含めて脊柱、四肢の各疾患(先天性疾患、炎症、加齢変性、腫瘍、代謝性・麻痺性・筋原性・リウマチおよび類似疾患、その他)に対して診療を行っています。

過去5年間の手術数:1,488件

外傷性疾患の手術が多いですが、人工関節置換術等

の慢性疾患に対しての手術も行っています。

③是非、市民にPRしたいこと

この度、社会情勢上、整形外科スタッフは減少となりましたが、可能な限りの効率化を図り、市民の皆様にサービスを提供できるように努めます。ご配慮をお願いします。

④今後の展望、抱負

患者様の早期社会復帰目指し、または周辺施設との連携をとり、急性期病院としての役割を果たしていきたいと思えます。

医師紹介

藤田 直己

整形外科専門医、リウマチ専門医、副院長。地域リハビリテーションに取り組んでいきたい。

箱木 知也

整形外科専門医、整形外科部長。

中島 哲雄

整形外科専門医。外傷中心に頑張っています。

堂垣 佳宏

新婚で頑張っています。

耳鼻咽喉科

①耳鼻咽喉科とはどんな科ですか？

主に、みみ、はな、のどをみる科です。その他に、めまい、頸のはれ、顔面神経麻痺なども診察します。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

一般外来は毎日行っており、毎週水曜日の午後は学童外来(予約制)をしています。

手術は扁桃腺、蓄膿、のどのポリープなどが多いですが、鼻や口や頸の良性の腫瘍の手術も行っています。

③是非、市民にPRしたいこと

最近、聞こえにくい、声がかすれる、ハナがつまる…。でも、年のせいだからとあきらめていませんか?もしかすると耳あかがたまっているのかもしれないし、のどや鼻にポリープが出来ていて、治療をすれば治るかもしれません。もし、年齢による難聴でも補聴器専門店で紹介し、相談していただいています。一度、耳鼻科を受診してみてください。

④今後の展望、抱負

できるかぎり、救急や入院には速やかに対応できるように心掛けています。

医師紹介

奥窪 明子

耳鼻咽喉科専門医、耳鼻咽喉科部長。

精神科

①精神科とはどんな科ですか?

当科の外来には小学生から高齢者まで、さまざまな心の問題を抱えた方々が訪れています。具体的な疾患名としては、不眠症、うつ病、パニック障害、神経症、統合失調症、認知症、自閉症などの発達障害、癌や難病などの身体疾患に伴う不安や抑うつなどの精神科的合併症、などです。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

精神科的症状に隠れた身体疾患がないかどうか、検査します(CT、MRI、SPECT、脳波、など)。面接を通し、精神症状を評価し、必要なら適切な薬物を投与します。適

切な薬は症状の軽減に有効ですし、症状の軽減があれば精神療法も進展します。精神療法では、まず現在の生活状況が療養に適切かどうかを検討し、改善できる点は改善し、時には過去の体験を振り返り、それをこれからの生活に生かしていくように考えます。これは患者さんと主治医との共同作業になります。

④今後の展望、抱負

通常の精神科診療のみならず、合併症治療・緩和ケアなど総合病院の中の精神科という特性を生かした精神医療に取り組んで参ります。

医師紹介

岡村 健二

躁うつ病が専門で、薬物療法を中心に、働き盛りの方や、ご高齢の方の沈んだ気分の改善を目指して治療して参ります。

俵 崇記

研修医時代の2年間当院でお世話になり、昨年再び戻って参りました。一般診療以外に精神科医として緩和ケアチームに関わっております。加西病院の一員として地域医療に貢献して参ります。

福田 朋子

加古川市民病院で臨床研修を終え、4月から後期研修医として勉強させていただいています。

産婦人科

①産婦人科とはどんな科ですか?

妊娠・出産に係る産科と、子宮ガン・卵巣ガンなどの悪性腫瘍・子宮筋腫・卵巣嚢腫などの良性腫瘍・ホルモン(内分泌)異常・性感染症・更年期障害などを扱う婦人科に分かれます。近年高齢者の増加に伴い、尿失禁や骨粗しょう症といった他科領域関連の疾患も扱うようになり、従来の産婦人科のイメージと少し異なってきているかもしれません。が、まさに女性の一生涯に関わっている診療科と言えます。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

現在常勤医が1名の為、出産は扱っていません。昨年11月からは手術は月平均3~4例行っていますが、そのうち高齢者に多い子宮脱(子宮が外に出てくる状態)の根治手術が三分の一を占めています。卵巣嚢腫や子宮内部の筋腫などは内視鏡による手術も取り入れています。更年期障害の治療は、ホルモン剤の他に漢方治療もするなど、きめ細かい対応をしています。

③是非、市民にPRしたいこと

平成18年6月に産婦人科は一時閉鎖になりましたが、9月より診療を再開いたしました。午後の診療（予約制）も取り入れ、市内唯一の産婦人科として、できるだけ利用していただきやすい体制を心掛けています。

④今後の展望、抱負

市内の妊婦さんが遠方の病院へ通院しなければならぬ負担を軽減する為に、産科の早期再開を目指しています。11月に産科（分娩医療）を再開予定です。

医師紹介

廣瀬 徹（常勤）

産科婦人科専門医、母体保護法指定医、産婦人科部長。

中林 幸士（非常勤）

（水曜のみ診察）

産科婦人科専門医、生殖内分泌評議員、兵庫県骨粗しょう症懇話会世話人

小児科

①小児科とはどんな科ですか？

小児の疾患全般を診療します。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

主に外来診療を行っております。

一般外来の他には下記の専門外来を行っています。

（アレルギー、低身長、神経、夜尿症、心エコー、内分泌）

③是非、市民にPRしたいこと

小児疾患何でも診ていますが、特にアレルギー疾患（気

管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎）を得意としています。

午前中以外でも夕方迄は可能な範囲で外来疾患を受け入れています。（午後は電話等で受け入れ可能か確認してください。）

④今後の展望、抱負

小児科医1人ですので外来診療が主になります。

可能な範囲では入院治療も行っています。

医師紹介

平井 孝長

小児科専門医、アレルギー専門医、小児科部長。家庭でも子育て奮闘中！

眼科

①眼科とはどんな科ですか？

眼に関する検査・診療・治療を行います。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

眼科一般と主に手術では白内障手術を行っています。

③是非、市民にPRしたいこと

白内障手術は極小切開白内障手術という侵襲の非常に

少ない手術を行っています。

④今後の展望、抱負

さらに眼に、患者様に優しい医療を行っていきたくと思っています。

医師紹介

遠藤 実

眼科認定専門医、眼科部長。

泌尿器科

①泌尿器科とはどんな科ですか？

尿路（腎臓・尿管・膀胱・尿道）及び精路（精巣・前立腺など）に生ずる疾患を扱う科です。

④今後の展望、抱負

現在泌尿器科は週2回神戸大学から派遣の医師により外来診療のみ行っております。入院手術を含めた加療を要

する場合は、近隣の泌尿器科常勤医師が在籍している施設、もしくは神戸大学病院に紹介させて頂いております。地元の皆様には御迷惑をかけておりますが、担当医は皆

豊富な臨床経験を有しておりますので、安心して受診してください。

皮膚科

①皮膚科とはどんな科ですか？

皮膚に起こる病気すべてが対象です。内臓の病気で皮膚に症状があらわれた場合は、診断の手助けもします。入院が長期間になるとどうしてもいろいろな皮膚のトラブルが起こってきますが、それも皮膚科で治療します。また、在宅に戻る場合に日常生活の何気ないけど重要な事についても、一人一人説明します。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

県内には加西病院より北西には入院設備を持つ皮膚科はありませんので、まず加西病院で治療できるか、より高度な治療を行える大学病院等に依頼するか、見極めることが重要です。そのため、直接来院された方、紹介のあった方に限らず、診療を正確に行う事を心掛けています。検査機器は都市部の大病院と同等の水準です。

③是非、市民にPRしたいこと

播磨・但馬・丹波は皮膚科もそれまで常勤医師がいた病院がいくつも閉鎖されています。治療を受けにわざわざ姫路や神戸まで時間をかけて通院しなくてもいいように、検査だけでなく治療機器や薬剤に関しても、都市部の

大病院と同等の水準としています。全く新しいタイプの紫外線照射器（ナローバンドUVB）や免疫療法（SADBE）、電気療法（イオントフォレーシス）、また自費ですがひどいニキビに対するケミカルピーリングも加西病院で行うことが出来ます。入院も一泊の手術入院から、数ヶ月に及ぶ皮膚の難病の治療まで、幅広く受け入れています。

④今後の展望、抱負

高齢化に伴って、高齢者に多くおこる病気を抱える人は増えつつあります。また、長寿のため人数だけでなく、割合も増えています。皮膚科も当然例外ではなく、むしろ年齢が上がるに連れて皮膚科の病気は急増します。以前は手術をしないと治らなかった病気も、手術以外の方法で治す事が出来るようになりつつあります。ケガも毎日処置しなくても治すような特殊器材が発達してきました。患者様に負担が少ない治療を積極的に取り入れていきます。また、国の在宅促進計画のため、どうしても褥創（床ずれ）の問題が起こってきてます。早く治療をしないと命にかかわることもありますので、こちらに関しても治療や生活指導などを行っていきます。

医師紹介

田中 将貴

皮膚科認定専門医、皮膚科部長。

山本 哲久

本年4月より赴任

放射線科

①放射線科とはどんな科ですか？

診断と治療に広範囲にまたがった幅の広い診療科です。診断に関しての主な仕事は、加西病院で撮影される全てのCTやMRI、核医学検査に目を通し、各科の先生方にアドバイスを行うことです。また、バリウムを使った胃や大腸の検査や、血管の中に管を入れて行う血管造影という特殊な検査も行っています。

治療に関しては、主に血管造影という手技を使い、血管内から癌などの腫瘍へ抗癌剤を注入する「血管内治療」を行っています。また、交通事故などによる内臓破裂や出血に対しても、血管内から血を止めるという「動脈塞栓術」

を行っています。

また、加西病院では行っていませんが、放射線治療も放射線科の仕事です。（放射線治療とはX線や電子線などの放射線を癌に照射する治療です。）当院で必要になった場合は近隣の病院（甲南加古川病院、県立加古川病院、姫路医療センターなど）と連携して行っています。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

画像診断：CT 年間約7000件、MRI 約3200件、
核医学検査約400件
消化管透視検査：年間約500件

血管造影及び血管内治療：年間約120件
外来化学療法：年間180件

③是非、市民にPRしたいこと

放射線科の仕事は画像診断という裏方の仕事が多く、一般の方には何をやっているのかあまりはっきりしない仕事だと思えます。でも、実は多くの患者様の病気の診断に一役買っているのです。できるだけ早く病気を見つけ、正確な診断をするために、日々コンピュータ画面とにらめっこしています。(加西病院ではすべての画像検査はデジタルデータとして保存され、フィルムではなくコンピュータ画面で見ることができます。)

加西病院の放射線科では癌に対する「血管内治療」を幅広く積極的に行っています。これは癌のすぐ近くの動脈から直接抗癌剤を注入する治療法で、副作用を抑えながら癌に対する効果を高めることができます。副作用が少な

いことから、入院せずに抗癌剤の治療を行うことも可能になります。放射線科では通院で行う外来化学療法にも力を入れていきます。

④今後の展望、抱負

放射線科が行う癌治療は、内科、外科が行う癌治療の隙間を埋めるようなものだと考えております。知識や技術、心と笑顔をあわせ持ち、少しでも多くの癌患者様を助けられるよう、努力していきたいと思えます。

医師紹介

寺嶋 千貴

医学放射線専門医。画像診断と血管内治療を両手に頑張っています。1児の父として奮闘中です。

麻 酔 科

①麻酔科とはどんな科ですか？

手術を受ける患者様に一番適した麻酔方法を選択し、手術中の痛みから体を守ります。

また手術中の、生命に直結した「呼吸管理」と、血圧、脈拍数などを制御する「循環管理」を専門とする科です。

②現在やっている仕事、実績、得意分野

麻酔全身管理：7288例／当院での18年間
ペインクリニック（痛みの治療）：毎週(月)・(木)

③是非、市民にPRしたいこと

麻酔中、一時も患者様の側を離れず、専門知識を駆使し患者様と共に戦う麻酔専門医は安全な手術を行うため

には必要不可欠です。麻酔科医不足が叫ばれる中、当院は長きに渡って常勤2名の麻酔科体制を維持しています。麻酔科認定病院ですので、安心して麻酔を受けていただくと自負しています。

④今後の展望、抱負

常勤の麻酔科医数は、その病院の医療の質を物語ります。すなわち、その病院の周術期医療の安全性は高く、また多くの科の専門医によるチーム利用を行っていることを示します。

当院は伝統的にチーム医療を大切にしています。安心して受診してください。

医師紹介

林 万亀男

麻酔科専門医・ペインクリニック専門医、副院長。
麻酔一般、痛みの緩和、麻酔科を統括

石島 周

麻酔科指導医、麻酔科副部長。麻酔一般



研修と医療の質

院長 山邊 裕

このコーナーは、市民の皆さんが「研修医は一人前でないので、できれば経験の有る医師に診てもらいたい」といった誤解を持たれないように紹介させていただきます。研修認定を受けた病院の多くが、『研修』は医療の質を高めると考えています。医療は日進月歩です。若い医師を育てられる病院であろうとすることが、医療の進歩に追随できる質の高い病院を作り上げます。質が低い病院や、十分な指導が受けられない病院は研修医から見捨てられます。それは同時に、優秀な指導医からも見捨てられることを意味します。優秀な指導医がやる気の有る研修医を支えてチーム医療を行い、病院として高い質を達成しながら、信頼と思いやりを理念とする診療を行う加西病院の役割をご理解ください。

安村 臨床研修医

Q1. 医師をめざした動機

人の役にたてる仕事だから選びました。

Q2. 市立加西病院の魅力やこの病院を選んだ理由

病院見学の際、病院内のコメディカル等のスタッフの方々が非常に親切で、他の先生方も教育熱心だと感じました。あと、加西市唯一の総合病院のため様々な病気を受け持つことができると思ったからです。

Q3. いまどのような仕事を加西病院でしているか。

研修医で、上の先生方から指導を受けつつ入院患者様の診察や治療を一緒にさせて頂いています。

Q4. どのような医療に興味があり、どのような専門分野をめざし勉強したいか。

都会・田舎問わず医者が必要とされている地域で内科全般を扱えるような診療ができる医師になりたいです。

Q5. 地域医療についてどのように考えているか。

医師不足や少子高齢化が進んでおり病院だけで全ての医療が行えないような状況もあり、行政と病院などの医療機関、開業医、各種施設が連携して患者様が気軽に医療を受けられることが大切だと思います。

増永 臨床研修医

Q1. 医師をめざした動機

自分が入院した時に、担当していただいた先生をみて、人と深く関わり、役に立つことが出来る医師という仕事に魅力を感じました。

Q2. 市立加西病院の魅力やこの病院を選んだ理由

実習にいったとき、職員の方々の医療に対する熱い気持ちや患者様への温かい気遣いが伝わってきました。また、研修医の教育にとっても熱心だからです。

Q3. いまどのような仕事を加西病院でしているか。

患者様のベットサイドでの基本的な管理から、指導医の先生とともに、病気に対する治療に参加しています。

Q4. どのような医療に興味があり、どのような専門分野をめざし勉強したいか。

内科全般を扱え、そして、患者様の身体面と精神面の両方からサポートできるようになりたいです。

Q5. 地域医療についてどのように考えているか。

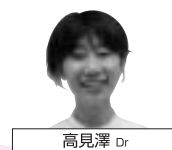
医師不足が深刻であり、その地域の人々の医療は不十分になっているのが現状だと思いますが、近在の市町村の医療、看護、保健での連携など行政面から改善するべき課題がたくさんあるように思います。



岡田 Dr



四宮 Dr



高見澤 Dr



宮田 Dr



蓬萊 Dr



桂田 Dr



安村 Dr



櫻井 Dr



米田 Dr

研修医
11名



山下 Dr



増永 Dr



地域医療室のご案内



～安心して医療を受けていただくために～

かかりつけ医との連携

当院は、厚生労働省や日本医師会の方針に従い、かかりつけ医や他の医療機関の協力のもとに、急性期医療を担当しております。従いまして入院治療後、病状が安定した時点で、在宅療養の場合、かかりつけ医（開業医）への紹介や他の医療機関を紹介など、地域医療室が窓口となり積極的に医療連携を推進しております。

また、他の医療機関へ転院された後でも、当院の検査や入院治療が必要となった場合にはいつでも対応できるようにしております。医療連携は「患者様中心の医療」を行う上で欠かすことの出来ないものです。今後とも皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



いつでも入院患者様を受け入れられる体制をとり、地域との連携を密にしております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

患者様の相談窓口

当院に入院・外来受診されている患者様で、他の医療機関や介護施設への紹介を希望されるときなどの相談を受け付けております。また、それ以外にも退院後の生活のことや介護に関する相談、病院のことについてわからないことや納得いかないことがあった場合などの相談窓口として対応いたします。

次のような相談をおうかがいしています

- ・ 介護保険・身体障害者に関する制度等の社会福祉の相談
- ・ 介護施設への入所についての相談
- ・ 医療機関への転院についての相談
- ・ 在宅医療
- ・ 介護に向けての相談
- ・ 介護機器・用品の相談
- ・ 外来通院
- ・ 入院中の診療や看護
- ・ 入院生活に関する相談
- ・ 医療費などの経済的な問題に関する相談
- ・ 女性相談
- ・ 医療安全に関する相談
- ・ セカンドオピニオン相談 等

その他困ったことがあれば何でも気軽にご相談下さい。



健診・ドックのご案内

地域住民の方々の健康保持・増進のために健診・ドックの受入れを積極的に行っております。

生活習慣病を早期に発見し、健康管理についての医学的アドバイスや生活指導を行います。

健康な方でも、定期的に検査を行い、過去の結果と比較することにより自身の体の変化をいち早く知ることが、病気を未然に防ぐ手段の一つです。

是非、年に一度は健診を受けられることをお勧めいたします。

メニュー	料 金 (税込み)	実施曜日 (祝日を除く)	実施時間	内 容
日 帰 り ド ッ ク	男43,050円 女42,000円	月・火・水・木	午前8:15～ 12:00頃迄	下記表示*1
1 泊 2 日 ド ッ ク	男70,350円 女69,300円	火・水曜日コース 木・金曜日コース	午前8:15～ 翌日12:00頃迄	下記表示*2
脳 ド ッ ク	A 53,550円	毎週 木曜日	14:00～16:00頃	頭MRI・頭頸部MRA 頸椎XP・心電図・眼底 尿・血液検査・血圧測定 動脈硬化検査・ 神経内科診察
	B 40,430円			頭MRI・頭頸部MRA 血圧測定・神経内科診察
レ ディ ー ス 検 診	8,930円	第2・4木曜日	14:00～16:00頃	乳がん検診 触診+マンモグラフィ 子宮がん検診 オプション 頸部細胞診 体がん 卵巣エコー

*1. 内科診察・身体計測・血圧測定・血液(男性:前立腺検査含む)・尿・胸部XP・胃カメラ(透視)・腹部エコー・心電図・便、喀痰・眼科検査・聴力 外科診察:肛門診・乳癌触診 婦人科診:子宮頸癌

*2. 日帰り+骨密度検査・肺機能・糖負荷検査・運動負荷検査・腫瘍マーカー・動脈硬化・マンモグラフィ(女性)

申し込み・問い合わせ先: 市立加西病院 地域医療室 0790 (42) 2200 内線 2382

☆加西市国民健康保険加入の方は助成制度がありますので、市役所国保健康課国保医療係までお問い合わせ下さい。

うつ伏せになって、寝たきを予防しましょう！

一般の方を対象に腹臥位療法（うつ伏せ療法）の公開講座を開催します。

加西病院では、“生ある限り生き生きと”を、目標に9年前から腹臥位療法（うつ伏せ療法）に取り組み、現在までに約300の方々に実施し、その効果を上げています。

腹臥位療法（うつ伏せ療法）の効果には、

1. 関節が硬くなり曲がったまま固まってしまうのを防ぐ
2. 痰が出やすくなる
3. 大便が出やすくなる

などを始めとして8つの効果があり、聖路加病院名誉院長の日野原重明先生も推奨されています。

その腹臥位療法（うつ伏せ療法）を一般の方にも知って頂くことで、寝たきりにならず、生き生きと生活することができるように、今回の公開講座を企画致しました。多くの方の参加をお待ちしています。

◆日時：H19年11月8日（木曜日）午後2時～3時

◆場所：加西病院 講義室

*お問い合わせ・お申し込み：

市立加西病院 (☎ ④2200)

看護部副部長 織辺智香子 (PHS 3100)

看護課長 竹垣恵美子 (PHS 3500)

お申し込み締切り：10月15日

救急外来のご案内

加西病院は、市民の急病に備え救急外来の充実を図っております。急病で翌日まで待てない状況のときは、病院にご連絡ください。

ただし、当直医師の専門がありますのですべての病気を診察できるわけではありません。まず、病院に問い合わせの上ご相談ください。また、救急外来にご意見・ご要望がございましたら玄関に設置のご意見箱にご記入いただければ幸いです。

*こんな症状は、我慢せずに救急外来にお越しください。

- ・胸がしめつけられるように痛い
- ・息苦しい（呼吸困難）
- ・意識がない
- ・顔色が真っ青で、気分が悪い
- ・血を吐いた
- ・下血した
- ・怪我をして血が止まらない
- ・手足に麻痺がある
- ・言葉が出にくい
- ・我慢できないくらいの腹痛
- ・骨折したかも…（当直が整形外科の場合のみ）

◆加西病院の救急外来利用時間

平 日

11:30～翌朝8:30まで

休 日

9:00～翌朝9:00まで

◆場 所

西玄関から入り、直進したところに救急受付があります。

◆受診方法

①来られる前にお電話ください（☎2200）

《手術などで診察ができない場合があります》

②来られたら救急受付で、診察申し込み用紙にご記入の上保険証を提示ください。どの科かがわかりにくい場合は、看護師が相談に応じます。

検査・放射線技師は呼び出し体制をとっています。

◆医師の当直体制

（救急受付に担当科の案内表示があります）

平 日 1人は、 17:15～翌朝 8:30

もう1人は、 17:15～ 21:00

休 日 1人は、 9:00～翌朝 9:00

もう1人（外科系）は、9:00～ 21:00

看護師は時間帯により1～3名で対応しております。

*複数の患者様がお見えの場合、基本的には受付順に診察させていただきますが、患者様の緊急度により順番を変更させていただきます場合がありますので、ご了承ください。

外来の受診時のポイント

市立加西病院は、市内唯一の総合病院・自治体病院として、市民の皆様の疾病の治療・健康診断の役割を担っています。診療は13科の診療をしています。そのうち4科は毎日診療をしていませんので、別表でご確認ください。一日の外来患者様の受診は、約500名前後です。私たち医療者は一人一人の患者様に安全で良質の医療を受けていただきたいと考えています。そのためには、お任せの医療ではなく、患者様ご自身が主体的に医療に参加し、患者様と医療者が良い協力関係を結ぶことが大切になってきますので、下記の注意事項を一読の上、ご協力をお願いします。

- 医療機関を初めて受診するときには、どのような症状がいつごろから見られているのかは、診断・治療をしていくうえで重要な情報になります。また、今までにかかったことのある病気や治療状況、患者様が治療に対して望む内容などについては、メモをして医療者に伝えると確実に伝わります。健康手帳など日ごろの状態がわかるものもご持参ください。
- 当院において治療中の患者様は、治療に伴う変化については速やかにご報告ください。
- 患者様が服用されている薬（他院からの処方・漢方薬・市販薬・サプリメントも含む）のすべてについて、医師に承知してもらいましょう。薬の説明書がありましたらご持参ください。
- 食べ物や薬に対するアレルギーや副作用の既往を医師に知ってもらいましょう。アレルギーのカードをお持ちの方は、診察時に提示をお願いいたします。
- 患者様が手術・検査・治療方法などについて医師より十分な説明を聞き、充分理解し納得することが大切です。わからないことがあれば、遠慮なくお聞きください。また、ひとりで説明を聞くことに不安をお持ちの方は、ご家族の方の同伴も可能です。

また、初めて受診される場合に、どの診療科に受診すればよいのか悩まれている方は、総合案内において、相談を受け付けています。治療中に診察室では質問しにくい場合は事前に看護師にご相談ください。共によい方法を検討していきますので、気軽にご相談下さい。

外来受付時間：再来器（再診の方 診察券で受付可能）

7:30～11:30

初診の方 事務所 医事課②番にて受付

8:30～11:30

病院は受付順に診療させていただきますが患者様の緊急度により順番を変更させていただきます場合がありますのでご了承ください。

マンモグラフィーについて

現在、乳癌検診においてマンモグラフィーは必須のものとなってきています。

当院でも、今年5月よりマンモグラフィーの機械が新しくなりました。

新しい機械は『マンモグラフィー検診精度管理中央委員会』が推奨する基準を満たしたもので、従来のものに比べると格段に診断のレベルが上がります。

また、当院には『マンモグラフィー読影認定医』と『マンモグラフィー技術認定技師』がおり、きちんとした診断を行う体制も整っていますので安心してマンモグラフィーを受けていただくことが可能です。



経鼻内視鏡検査とは？

◆経鼻内視鏡検査とは？

従来の経口内視鏡検査（胃カメラ）は、口から太さ1センチ程のチューブ（カメラ）を挿入して行います。従って喉を越える時などに咽頭反射（ゲーっとなること）が出て“苦しい検査”という印象がありました。これを克服するために開発されたのが経鼻内視鏡、いわゆる“鼻カメラ”です。経鼻内視鏡は鼻からカメラを挿入するため、舌やのどへの刺激が少なく咽頭反射がおこりにくくなります。また太さが5.5ミリと非常に細く、検査中の喉の違和感（息がつまる感じ）も軽くて済みます。当院では苦痛の少ない最新の極細径経鼻内視鏡を導入し、本年より稼動開始いたしました。

◆経鼻内視鏡の特徴

（利点）鼻の麻酔だけでできる（麻酔時にもほとんど痛みがない）、咽頭反射や喉の違和感が少ない、経口内視鏡に比べ、喉の病気を発見しやすい、検査中に医師と会話ができる、検査後早めに飲水や食

事が可能、など。

（欠点）鼻腔の狭い方や鼻炎等でつまっている方では、鼻の痛みがあったり内視鏡が入らなかったりすることがある。

止血等の処置ができず、必要な場合口からのカメラに入れ替えることがある、検査後に鼻血が少し出ることがある、など。

◆検査を希望される方へ

現在はカメラの本数が少なく、1日に3～4人までに限定しています。また基本的に人間ドックの方が優先ですが、一般の方でもご希望があれば検査予約できますので、どうぞお気軽にご相談ください。鼻からの内視鏡というと何となく抵抗がありますが、以前に胃カメラを受けて非常につらかった、という方には特におすすめです！



ベリーの会（糖尿病友の会）に入会しませんか？

糖尿病と診断されたあなた、一人で悩んでいませんか？日々の食事のメニューでお困りではありませんか？もっと美味しく料理できないか？運動といえば歩くだけ。雨の日はどうすればいいのか分からない。「何か楽しくできる運動はないかな～？」、と。

そのようなあなたに是非お勧めします。友の会に入ることにより、同じような悩みをかかえているもの同士の親睦を深めることができるようになっていきます。食事療法や運動療法など体験談をお互い語り合うことにより、楽しい人生を送っていただきたいと考えています。また、普段の診察時にはあまりゆっくりお話できないことも、皆さんとともに考えていきたいと思っています。

昨年度はフラワーセンターに行き、お弁当をみんなで輪になって食べました。会長の楽しい漫談などがあり、終始笑っぱなしでした。秋は高源寺へ紅葉狩りに行き、車中では糖尿病に関するクイズと景品で時間を忘れ、お昼はアマ

ゴ料理を食べ、楽しいひとときを過ごせました。また、病院でのお茶会や糖尿病の勉強会なども実施しまし

た。今年度も4月に総会を行い、糖尿病の話を医師から聞きながらお茶を愉しましました。5月に行った北播磨余暇村公園は、五月晴れのすがすがしいお天気で、小鳥のさえずりを聞きながら、童心に返り滑り台を滑ったり、みんなでお弁当を食べながらおしゃべりをしたりの実りの1日でした。また、今後は毎月ウォーキングを企画しています。

ベリーの会では会員を随時募集しています。会員は糖尿病患者様とご家族、ならびに糖尿病療法指導士を中心とした病院スタッフです。入会ご希望の方や詳しいことを聞きたいという方は病院の外来看護師の菅野（スガノ）までご連絡下さい。

ベリーの会 病院世話人代表 菅野 美枝



★★ (加西市内) 医院・病院連絡番号表 ★★

病院名	電話番号	病院名	電話番号
あさじ医院	44-0225	あだち眼科	43-7007
安積医院	46-0361	天沼医院	42-3636
荒木医院	43-9711	いずみ泌尿器科	42-5900
いまだ眼科	43-3933	大杉内科医院	47-0023
小野寺医院	48-3737	おりた外科胃腸科医院	42-6000
京谷医院	43-8811	小橋医院	42-0412
さかいこどもクリニック	43-0415	坂部整形外科	43-1444
佐竹医院	42-4057	さたけ小児科	43-1717
田尻内科循環器科	43-7931	つつみ神経内科	45-2050
徳岡内科	42-0178	なるせ皮膚科	42-6767
西村医院	49-0001	西村耳鼻咽喉科	42-6020
藤定眼科	42-5382	北条田仲病院	42-4950
みのりクリニック	49-8470	三宅医院	49-0067
横田内科医院	42-5715	米田病院	48-3591

★★ 小児救急医療電話相談 ★★

こどもの急な病気・けがなどで医療機関を受診したほうがよいかなどでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

北播磨小児救急医療電話相談センター (0794) 62-1371

〈相談時間〉 午後6:00～午後10:00 (年末年始・祝祭日は除く)

救急受診にあたっては、あらかじめ電話相談の上、受診して下さい。

尚、診療時間につきましても、ご確認ください。

(北播磨小児救急当番病院での診療は、深夜0時までとなっております。)

市立小野市民病院	0794-63-2020
市立西脇市民病院	0795-22-0111
公立社総合病院	0795-42-5511
市立加西病院	0790-42-2200
姫路夜間急病センター	079-298-0119 (深夜0時以降も診察)
加古川夜間急病センター	079-431-8051 (深夜0時以降も診察)

外来診察担当表

平成19年7月1日現在

		診察室	月	火	水	木	金
内科	総合	初診	8 山谷	山邊	北嶋	森	山邊
		初再診	7 河合	福田 <small>（午後・玉川）</small> / 岩佐	北崎	松本 <small>（1・3・5週）</small> / 安積 <small>（2・4週）</small>	大瀬
	専門外来	予約診	6 <small>（消化器）</small> 大瀬	<small>（消化器・代謝）</small> 山谷	野村 / 豊國	<small>（糖尿病）</small> 山谷	<small>（心臓病・心不全）</small> 河合
			5 森 / 安積 <small>（午前）</small> / <small>（午後）</small>	<small>（心臓病・不整脈）</small> 北崎	<small>（心臓病・冠疾患）</small> 森	<small>（消化器・肝臓）</small> 北嶋	
			26 山邊	<small>（午前）</small> 小林		山邊	西村 <small>（午後）</small>
	午後 処置室		<small>（ペースメーカー）</small> 北崎				
地域医療室	人間ドック <small>（11:00～12:00）</small>	30 山邊	河合	山邊	山邊	山谷	
神経内科		35 石原		石原	奥田		
外科		18 生田		生田	生田		
		20 西田	交代で診察	角	藤田 敏	西田	
整形外科	初診	21 藤田 直	交代で診察	箱 木	藤田 直	中 島	
	再診	22 *箱 木		藤田 直 <small>（予約診）</small>	*中 島	*藤田 直	
		23 中 島		堂 垣	箱 木	堂 垣	
耳鼻咽喉科		1 奥 窪	奥 窪	奥 窪	神 大	奥 窪	
	午後			<small>（学童外来）</small>	<small>（手術日）</small>		
精神科		3 岡 村	俵	岡 村	岡 村	岡 村	
			俵	岡 村	福田と	俵	
	午後	岡 村	福田と		俵		
		俵	岡 村		福田と		
産婦人科		3 <small>（心理士）</small>	辻 河	月 岡	菊 岡	南 尾	竹 下
		午前 廣 瀬	廣 瀬	中 林	廣 瀬	廣 瀬	
小児科		午後（予約診）	（予約診）		（予約診）	（予約診）	
		10 平 井	平 井	平 井	平 井	平 井	
眼科		午後 <small>（アレルギー）</small> <small>（予防接種）</small>	<small>（夜尿症）</small> <small>（アレルギー）</small> <small>（BCG 第1火曜日）</small>	<small>（予防接種）</small>	<small>（心エコー・第4木曜日）</small> 水 戸 <small>（予約診）</small>	<small>（乳児検診）</small> <small>（アレルギー）</small> <small>（低身長）</small> <small>（脳神経）</small>	
		25 渡 部	遠 藤	遠 藤	遠 藤	遠 藤	
	午後		渡 部	遠 藤 <small>（予約診）</small>	渡 部	遠 藤 <small>（予約診）</small>	
泌尿器科		12 寺 川		竹 田			
皮膚科		2 田 中	田 中	田 中	山 本	田 中	
		山 本		山 本		山 本	
放射線科		27 寺 嶋		寺 嶋		寺 嶋	
麻酔科		16 林			林		
		石 島			石 島		

※整形外科 22診（月・木・金曜日）は予約の患者様も含まれます。

※小児科 月・水曜日の予防接種・第1火曜日のBCGは要予約です。

【受付時間】 ◎新来院の方（午前8時30分～午前11時30分）

- ・初めて加西病院を受診される方
 - ・今回受診される診療科が初めての方
 - ・診察券（IDカード）をお持ちでない方
- 受付窓口②へお越しください

◎再来院の方（午前7時30分～午前11時30分）

- ・IDカードにより再来受診機で受付を行ってください。

※月に一度は保険証の確認をいたしております。中央受付にご提出ください。

※医師の都合により変更がありますので、案内板をご確認ください。

